

30. 多変量解析による Ga-67 体内分布の因子推定 (第4報)

東 光太郎 小林 真 大口 学
宮村 利雄 山本 達 (金沢医大・放)

われわれは、シンチグラム上の Ga-67 の体内分布を決定する主要因子を因子分析法を用いて分析している。これまでの検討では、因子分析の変量として、1) delayed scintigram 上の各臓器のカウント数を大腿部軟部組織のカウント数で除した値つまり delayed scintigram 上の相対的な各臓器の Ga-67 の取り込み量を使用してきた。今回は、2) early scintigram 上の各臓器のカウント数を大腿部軟部組織のカウント数で除した値つまり early scintigram 上の相対的な各臓器の Ga-67 の取り込み量、3) delayed scintigram 上の各臓器のカウント数を early scintigram 上の各臓器のカウント数で除した値つまり各臓器の Ga-67 の取り込み量の経時変化の2つを新たに変量とし、同一のサンプル(96例)で1), 2), 3)それぞれで因子分析を行った。その結果、early scintigram 上の涙腺、鼻咽頭部、心臓、肺臓、肝臓、腰椎の6部位の相対的な Ga-67 の取り込み量は、delayed scintigram と同一の2つの因子により決定された。この2つの因子により、6部位は、涙腺、鼻咽頭部の群と心臓、肺臓、肝臓、腰椎の群の2群に分類された。また各臓器の Ga-67 の取り込み量の経時変化は、主に3つの因子により決定された。この因子により6部位は、涙腺、鼻咽頭部の群、心臓、肺臓の群、肝臓、腰椎の群の3群に分類された。

31. 甲状腺髄様癌の転移巣に $^{99m}\text{TcO}_4^-$, $^{201}\text{TlCl}$, ^{67}Ga citrate および ^{123}I の集積を認めた一例

外山 宏 竹内 昭 花井 直子
安野 泰史 河村 敏紀 齊藤 隆司
伊藤 毅 直下 伸一 片田 和広
古賀 佑彦 (藤田学園・放)
牧野 直樹 (名大・放)
三浦 馥 岩瀬 克己 (藤田学園・外)

甲状腺髄様癌の転移巣に特異的な RI 集積を認めた症例を経験したので報告した。初発時原発巣の甲状腺左葉には $^{99m}\text{TcO}_4^-$ で cold nodule, $^{201}\text{TlCl}$ で軽度の集積を

認めた。転移出現後の $^{201}\text{TlCl}$, $^{99m}\text{TcO}_4^-$ で頸部、縦隔、大腿骨のほぼ同一部位に異常集積像が見られた。ヨードも取り込まれるならば ^{131}I による治療が可能ではないかと考え Na^{123}I シンチ施行したところ、縦隔、大腿骨の転移巣に集積が見られた。続いて行われた ^{67}Ga -citrate シンチでも縦隔への集積を認めた。全身状態悪化のため ^{131}I 治療は施行されなかった。

32. Sagittal scan による脳 SPECT について

金子 昌生 畠山 真行 阿隅 政彦
竹原 康雄 加藤 俊彦 影山 貴一
(浜松医大・放)
北沢 幸保 (同・放部)

脳の SPECT を行う際、従来の体軸のまわりを回転する SPECT を Transverse scan SPECT Image (TS) とし、これに対し、今回われわれは顔面から頭頂、後頭方向に回転させる SPECT を考案し、Sagittal scan SPECT Image (SS) と定義した。ファントムを使った基礎実験では、SS 方式で感度と解像力の向上が証明された。また、臨床応用では従来の TS 方式でみられたごとく右側方からデータを集積している時間と、左側方からの場合の時間のずれがなく、左右対称な脳半球のデータを同条件でとることができることがわかり、左右差のある病変の診断に有力である。さらに、SS 方式では、特別の機器を必要とせず、短時間でより精度の高い画像が得られるという長所がある。

33. MRI の臨床応用(脳神経を中心として)

小林 真 東 光太郎 宝田 陽
大口 学 中川 哲也 興村 哲郎
宮村 利雄 山本 達 (金沢医大・放)

本年四月より当院において、0.5T 超電導核磁気断層装置(シーメンス社)の臨床治験を開始した。約1か月間の脳神経領域での症例数は39例、45回であった。内訳は梗塞6例、出血3例、腫瘍14例、膿瘍2例、MS 3例、その他11例である。使用したパルス系列は主に TR 1,600 mS, および 600 mS のスピンエコー法を用いエコー時間(TE)は35 mS より 120 mS を適宜選択した。今回経験した症例はいずれも MRI にて明瞭に病変